

視察研修・研修会報告書

議席番号（6 番） 議員名（加藤久人）

1 年 月 日	令和 6 年 8 月 8 日（木）～ 9 日（金）（日数 1 泊 2 日）
2 場 所	新潟県十日町市 十日町市役所 他
3 視察・研修事項	大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2024
4 面 接 者	十日町市文化観光課 山岸課長補佐
5 視察研修、研修会の成果 8 日 14 時～15 時 30 分 山岸課長補佐より事業説明を受けた。 *事業説明 2000 年から始まり、3 年毎に開催し今年で 9 回目である。その間、作品数も来場者数も順調に伸ばすことが出来た。 （2022 年第 8 回の状況） ・入込客数 574,138 人 ・参加集落 109 集落 ・経済波及効果 8,261 百万円 *最初はなかなか地域住民にも受け入れてもらえなかったが、辛抱強く続けることにより、理解力も上がり、地域経済に大きな影響を与えられる様になった。交流人口の拡大や関係人口の増加など、様々な側面から地域活性化に寄与できていると思われる。 （課題） ・持続的な財源の確保 →補助金中心から自主財源確保へ ・担い手となる人材の育成・確保 →少子高齢化の壁、関係人口の拡大 ・観光受入体制と経済効果の拡大 →地域住民の意識改革 （感想） ここまで続けて来られるには、市職員をはじめ関係者の相当の努力が必要だったと思われる。特に地域住民にご理解いただくには、簡単でなく並みならぬ苦労があったことが予想される。継続することにより、経済への波及効果も高まっているが、課題にも上がっているように、財源・労力・住民の理解など継続していくにはまだまだ問題も多いことと思われる。 下呂の場合も、この辺りをしっかり検証し 2 回目以降の開催を検討する必要があると思われる。	

視察研修・研修会報告書

議席番号（6 番） 議員名（加藤久人）

1 年 月 日	令和 6 年 8 月 8 日（木）～ 9 日（金）（日数 1 泊 2 日）
2 場 所	新潟県十日町市 十日町市役所 他
3 視察・研修事項	大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2024
4 面 接 者	NPO 法人 越後妻有里山協働機構 原事務局長
5 視察研修、研修会の成果 8 日 15 時 30 分～17 時 30 分） 9 日 10 時～13 時 00 分 ） 作品を視察しながら事務局長の説明を受けた。 *事業説明 8 日 1. 絵本と木の実の美術館（廃校を利用したの展示館） 2. 高龍神社（地元の神社境内を利用したの展示） 3. 里山現代美術館 MonET（既存施設を改良したの展示館） 9 日 1. 奴奈川キャンパス（廃校を利用したの展示館） 2. 星峠の棚田（棚田を管理しながら観光地化） 3. 脱皮する家（古民家を改装したの展示館） 4. 屋外展示物（棚田、○△□の塔と赤とんぼ、花咲ける妻有など） 5. 農舞台（新設建物の展示館） 以上の展示物を視察。 （感想） 例えば、2. 高龍神社においては、観光客が多くなりにつれ、地域住民の方の理解も上がり、周辺の整備などが進んで来た。との事であった。しかしここまで来るには回数を重ねることにより理解を得ることが出来た事である。又、棚田などは高齢化により耕作放棄される方が出て来、その分をスタッフで管理することとなり、事務局の負担も大きくなっており、継続する事の必要性和その大変さが伺えた。 下呂市においても、理想は数を重ね地域に根ざした事業となり、小坂から金山までの市内全体に作品が展示され、国内外から集客できることである。しかし、そのためには資金面も含めて並々ならぬ努力が必要であると感じた。	